

平成 26 年度
富山県認知症高齢者実態調査報告書

富山県厚生部

はじめに

本県における認知症高齢者数は、要介護認定者のうち認知症のため日常生活に一定の支援を必要とする方の数は、平成 25 年 12 月末現在、約 3 万 6 千人とされています。要介護認定を受けていない方も含めると約 4 万 6 千人と推計され、今後の高齢化の進展により一層増加することが見込まれています。

このようななか、国では平成 26 年 6 月に、地域における医療及び介護の提供体制を一体的に改革する「医療・介護総合確保推進法」が公布されました。このうち、介護保険制度の見直しにおいて、認知症施策は市町村が取り組む地域支援事業に位置づけられ、初期集中支援チームや地域支援推進員の設置などによる取組み強化が示されたところです。また、平成 27 年 1 月には「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」が策定され、関係省庁が連携して、予防、早期発見なども含め、認知症高齢者にやさしい地域づくりを推進していくこととされています。

本県では、認知症の方ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、富山県高齢者保健福祉計画・第 6 期介護保険事業計画において「認知症施策の推進」を重点項目に掲げ、①認知症の普及啓発と予防、早期発見・早期対応の推進、②認知症の医療・介護体制の整備と地域連携の推進、③地域における支援体制の推進に積極的に取り組んでいくこととしています。

また、これまで認知症施策推進の基礎資料を得ることを目的として、県内高齢者を対象に認知症実態調査を昭和 60 年、平成 2 年、平成 8 年、平成 13 年と実施してきたところですが、今回 13 年ぶりに調査を行うこととなりました。

この調査は、県内高齢者の生活実態を調査した第一次調査、認知症疾患の有病率や介護状況を調査した第二次調査及び過去の調査結果を踏まえた経年変化などをまとめたものです。調査結果からは、高齢者世帯の増加、家族介護者の高齢化、本人や周囲の気付きが受診につながるまでは一定の期間を要している実態などが明らかになったところです。本調査結果を踏まえ、今後のきめ細かな認知症施策の推進・支援に活かしてまいります。

関係各位におかれましても、認知症施策推進、認知症高齢者及びその介護者への支援の基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力いただきました対象者とその家族の方々、ならびに富山県精神科医会、市町村等関係の皆様には厚くお礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

富山県厚生部長

目 次

第1章 調査の概要

第1節 目的及び方法等

1 調査の目的	1
2 調査の実施主体及び協力団体	1
3 調査実施委員会の設置	1
4 調査の概要	1
(1) 調査の構成	1
(2) 調査の対象	1
(3) 調査事項	1
(4) 調査方法	1
(5) 調査日程	2
(6) 調査の集計及び分析	2
(7) 集計対象者	2

第2章 調査結果の概要

第1節 第一次調査

1 調査対象者	5
2 家族状況	6
(1) 家族構成	6
(2) 世帯人員	7
(3) 配偶者との同居・別居	8
3 職 歴	9
4 最終学歴	10
5 健康状態	11
(1) 身体状況	11
(2) 外出状況	14
(3) 日常生活状況	15
(4) 要介護認定	17
(5) 既往歴(40歳以上)	18
(6) 現在の受診状況	20
(7) 心の健康状態	22
(8) 性格の変化	26
(9) 物忘れの状況	27
(10) 長谷川式認知症スケール	28
6 生活状況	29
(1) 仕 事	29
(2) 家庭での役割	30
(3) 社会参加	31
(4) 会 話	32
(5) 嗜 好	33

第2節 第二次調査

1 調査対象者	34
2 認知症の有病率	34
(1) 有病率の推計	34
(2) 認知症の種類	36
(3) 疾患別有病率と認知症の程度	38
※以下、認知症ありの者	
3 身体的健康状態	39
(1) 既往歴	39
(2) 現病歴	41
(3) 身体合併症	43
4 精神的健康状態	44
(1) 主要精神症状	44
(2) 疎通性	45
5 受診までの経過	47
(1) 中核症状や周辺症状の有無、気付いた時期及び理由	47
(2) 中核症状や周辺症状に気付いてからの受診等	49
6 介護の状況	51
(1) 周辺症状の有無と介護者の悩み	51
(2) 介護内容	54
(3) 認知症高齢者の日常生活自立度	59
7 介護保険に関する現状	60
(1) 要介護認定	60
(2) 介護サービス等の利用	61
(3) 介護保険以外のサービスの利用	63
8 介護者の現状	64
(1) 介護者の属性	64
(2) 介護期間	64
(3) 介護者の職業（雇用形態）	65
(4) 対象者と介護者の人間関係	65
(5) 介護の代替者	65
(6) 介護の認識	66
(7) 介護者の身体的、精神的不調	68
(8) 介護者自身の受診	69
(9) 介護上の困りごと	69
(10) 生活上の影響	70
(11) ストレスの解消	71
9 相談に関すること	72
(1) 相談相手	72
(2) 相談機関	72
10 施設介護サービス利用の希望（在宅者のみ）	73
11 行政に望むこと	74

第3節 認知症の有無による比較

1 調査対象者の基本属性	75
2 健康状態	75
(1) 身体状況	76
(2) 外出状況	78
(3) 日常生活状況 (ADL)	78
(4) 要介護認定	80
(5) 既往歴	80
3 家庭での役割及び社会参加	81
4 心の健康状態	82

第4節 過去の調査との比較	84
---------------	----

附属資料

1 富山県認知症高齢者実態調査実施要綱	99
富山県認知症高齢者実態調査実施委員会設置要綱	101
富山県認知症高齢者実態調査実施委員会名簿	102
2 富山県認知症高齢者実態調査の実施経過	103
3 調査票 (第一次調査・第二次調査)	104
4 判定基準等	134

第1章 調査の概要

第1節 目的及び方法等

1 調査の目的

この調査は、認知症高齢者の増加が加速する中、県内在住の認知症高齢者の実態を把握し、高齢化・重度化に応じた、より適時適切かつきめ細かな認知症ケアを提供するための基礎資料とする。

2 調査の実施主体及び協力団体

この調査は、富山県が各市町村、医師会、精神科医会、保健・福祉・医療の関係機関や関係団体等の協力を得て実施した。

3 調査実施委員会の設置

この調査の内容及び調査の方法、調査結果の分析、その他必要事項を検討するため、富山県認知症高齢者実態調査実施委員会を設置した。

委員会の構成は、別に定める委員会設置要綱による。

4 調査の概要

(1) 調査の構成

この調査は、「第一次調査」、「第二次調査」に区分して実施した。

(2) 調査の対象

1) 第一次調査

県内に居住する65歳以上の高齢者307,582人(平成25年10月1日現在)の中から住民基本台帳を用いて0.5%の無作為抽出により1,537人を調査対象とした。

2) 第二次調査

第一次調査により全般的に認知機能の低下等が疑われた高齢者252人を調査対象とした。

(3) 調査事項

1) 第一次調査

世帯・家族状況、日常生活状況、身体・精神面の健康状態、認知機能の状況等

2) 第二次調査

認知症の種類・程度に関する事項、健康状況等、介護サービス等の利用状況、介護者の状況等

(4) 調査方法

1) 第一次調査

県厚生センター職員及び県が委託した市町村等の調査員が調査対象者宅等を訪問し、本人及び家族等から聞き取り調査を行った。

2) 第二次調査

県が依頼した精神科医及び厚生センター・保健所の保健師が調査対象者宅等を訪問し、直接本人に面接して調査を行った。

(5) 調査日程

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1) 第1回実施委員会の開催 | 平成26年2月10日 |
| 2) 第2回実施委員会の開催 | 平成26年3月18日 |
| 3) 第一次調査調査員説明会 | 平成26年6月5日～6月9日 |
| 4) 第一次調査 | 平成26年6月～平成26年8月 |
| 5) 第一次調査スクリーニング | 平成26年10月8日 |
| 6) 第3回実施委員会の開催 | 平成26年10月14日 |
| 7) 第二次調査調査員説明会 | 平成26年9月～10月 |
| 8) 第二次調査 | 平成26年10月～平成26年12月 |
| 9) 第4回実施委員会の開催 | 平成27年3月17日 |
| 10) 報告書の印刷 | 平成27年3月末 |

(6) 調査の集計及び分析

富山県厚生部（高齢福祉課）及び委託事業者が集計・分析し、富山県認知症高齢者実態調査実施委員会において検討した。

(7) 集計対象者

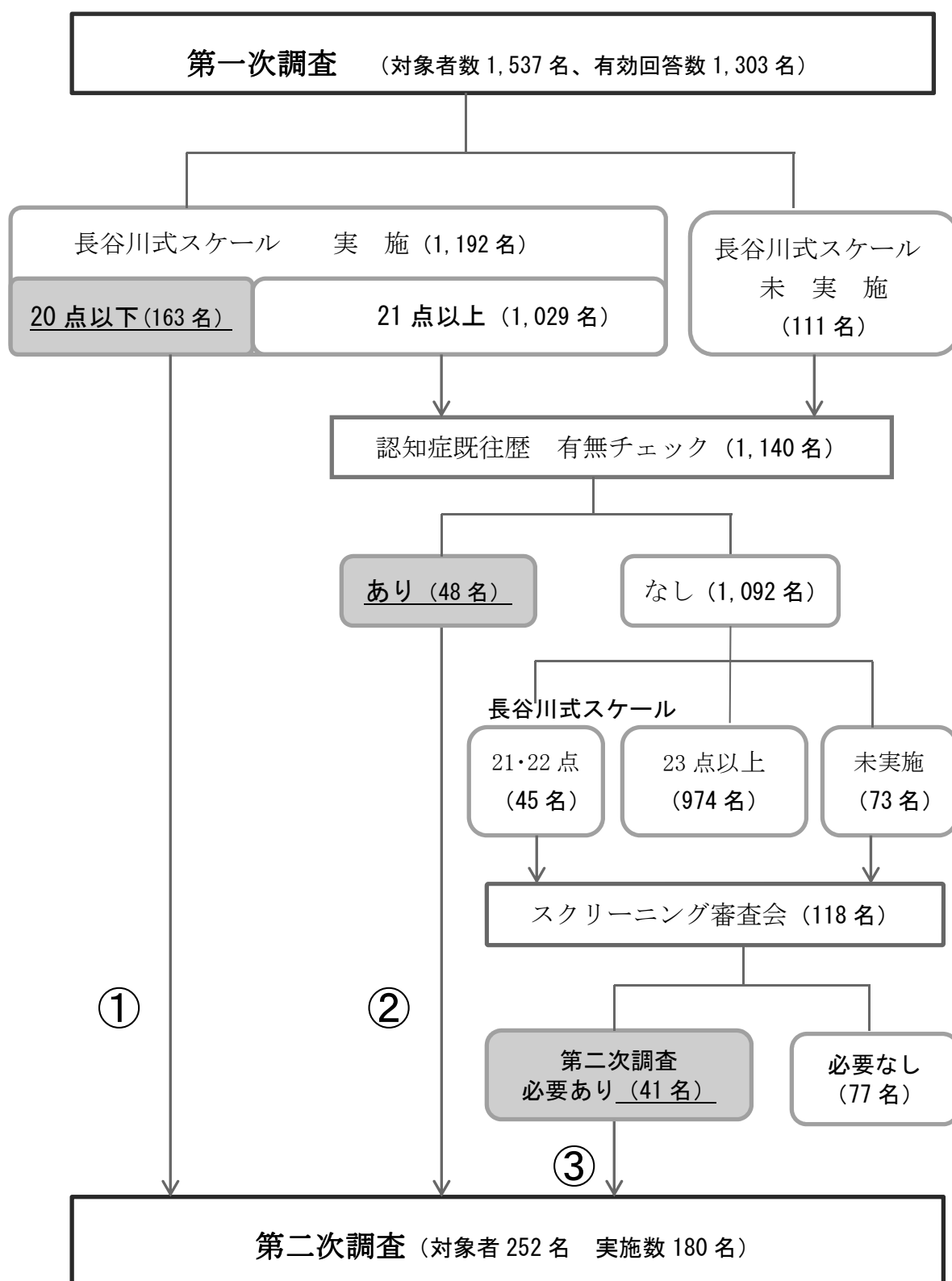
- 1) 第一次調査
調査対象者 1,537 人のうち有効回収数は 1,303 人、有効回収率 84.8%であった。
- 2) 第二次調査
調査対象者 252 人のうち有効回収数は 180 人、有効回収率は 71.4%であった。

富山県認知症高齢者実態調査フロー図

第二次調査の対象者 252 名の選定方法は、以下のとおりである。

- ① 第一次調査回答者 1,303 名のうち、長谷川式スケールを実施できた者が 1,192 名、実施できなかったものが 111 名であった。長谷川式スケール実施者のうち、点数 20 点以下の 163 名を第二次調査の対象とした。
- ② 長谷川式スケール実施者のうち点数が 21 点以上の者 1,029 名と、長谷川式スケール未実施者 111 名のうち、認知症の既往歴があった 48 名を第二次調査の対象とした。
- ③ 認知症の既往歴がなかった者 1,092 名のうち、長谷川式スケール点数が 21 点・22 点の者及び長谷川式スケール未実施者について、スクリーニング審査会で審査し、認知機能の低下が疑われた 41 名を第二次調査の対象とした。

富山県認知症高齢者実態調査フロー図



第2章 調査結果の概要

第1節 第一次調査

1 調査対象者

調査対象は、県内に居住する65歳以上の高齢者307,582人(平成25年10月1日現在)の中から0.5%を無作為抽出した1,537人を対象者とした。

調査対象者1,537人のうち、有効回答が得られたのは1,303人(有効回答率84.8%)である。

有効回答者の調査実施場所は、「在宅」92.8%、「入院」1.8%、「入所」5.4%であった(表1)。

有効回答者の性別は、「男性」552人<42.4%>、「女性」751人<57.6%>であった(表2)。

平均年齢は、76.5歳、「男性」75.3歳で、「女性」77.4歳であった。

年齢構成は、「65～69歳」23.4%、「70～74歳」22.7%、「75～79歳」18.5%、「80～84歳」17.7%、「85歳以上」17.7%であった。

調査回答者の年齢階級別構成割合は、平成25年10月1日現在の富山県全体の性、年齢階級別構成とおおむね同じであったが、高い年齢層で若干高かった。

表1 第一次調査実施状況

総数	有効回答数			調査不能					無効
	在宅	入院中	入所中	232	死亡	転出	拒否	その他	
1,537 (100.0)	1,303 (84.8)	1,209 (92.8)	24 (1.8)	70 (5.4)	14 (6.0)	7 (3.0)	170 (73.3)	41 (17.7)	2 (0.1)

注) 在宅：在宅(サービス付高齢者向け住宅、有料老人ホーム等を含む)で生活している者

入院：病院に入院中の者

入所：介護保険施設、介護福祉施設等に入所している者

表2 第一次調査回答者性別・年齢階級別

	合計		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	平均年齢	標準偏差
	調査回答者	1,303 (100.0)	<100.0>	305 (23.4)	296 (22.7)	241 (18.5)	231 (17.7)	230 (17.7)	76.50
男	552 (100.0)	<42.4>	145 (26.3)	139 (25.2)	110 (19.9)	91 (16.5)	67 (12.1)	75.28	7.33
女	751 (100.0)	<57.6>	160 (21.3)	157 (20.9)	131 (17.4)	140 (18.6)	163 (21.7)	77.39	8.34
県全体	307,582 (100.0)		83,651 (27.2)	68,369 (22.2)	57,590 (18.7)	48,640 (15.8)	49,332 (16.0)	県全体 平成25年10月1日 現在	
男	128,837 (100.0)		40,368 (31.3)	31,550 (24.5)	24,375 (18.9)	18,519 (14.4)	14,025 (10.9)		
女	178,745 (100.0)		43,283 (24.2)	36,819 (20.6)	33,215 (18.6)	30,121 (16.9)	35,307 (19.8)		

2 家族状況

(1) 家族構成

入院・入所を除く在宅で生活している者(1,209人)の家族構成は、総数では、「夫婦のみ」28.6%が最も多く、「子ども夫婦と孫と同居」20.9%、「子ども(未婚)と同居」16.9%、「ひとり暮らし」13.2%の順であった(表3)。

「ひとり暮らし」は、性別では男性7.9%、女性17.2%であり、総数13.2%は、平成13年度調査(10.2%)に比べると、3.0ポイント上昇した。また、高齢者のみの世帯(「ひとり暮らし」、「夫婦のみ」、「親と同居」)は44.8%であり、平成13年度調査(32.7%)に比べると、12.1ポイント上昇した。

表3 家族構成一性別・年齢階級別

	合計	ひとり暮らし	夫婦のみ	親と同居	子ども夫婦と同居	子ども夫婦と孫と同居	子ども夫婦と孫夫婦と同居	子ども(未婚)と同居	孫夫婦と同居	その他	無回答	
総数	1,209 (100.0)	159 (13.2)	346 (28.6)	36 (3.0)	92 (7.6)	253 (20.9)	24 (2.0)	204 (16.9)	1 (0.1)	93 (7.7)	1 (0.1)	
性別	男	530 (100.0)	42 (7.9)	186 (35.1)	23 (4.3)	28 (5.3)	97 (18.3)	13 (2.5)	97 (18.3)	1 (0.2)	42 (7.9)	1 (0.2)
	女	679 (100.0)	117 (17.2)	160 (23.6)	13 (1.9)	64 (9.4)	156 (23.0)	11 (1.6)	107 (15.8)	0 (0.0)	51 (7.5)	0 (0.0)
年齢	65～69歳	302 (100.0)	25 (8.3)	98 (32.5)	23 (7.6)	8 (2.6)	39 (12.9)	2 (0.7)	72 (23.8)	0 (0.0)	35 (11.6)	0 (0.0)
	70～74歳	293 (100.0)	37 (12.6)	107 (36.5)	11 (3.8)	10 (3.4)	54 (18.4)	0 (0.0)	54 (18.4)	0 (0.0)	19 (6.5)	1 (0.3)
	75～79歳	234 (100.0)	29 (12.4)	77 (32.9)	1 (0.4)	12 (5.1)	62 (26.5)	5 (2.1)	37 (15.8)	1 (0.4)	10 (4.3)	0 (0.0)
	80～84歳	208 (100.0)	39 (18.8)	42 (20.2)	0 (0.0)	25 (12.0)	54 (26.0)	7 (3.4)	24 (11.5)	0 (0.0)	17 (8.2)	0 (0.0)
	85歳	172 (100.0)	29 (16.9)	22 (12.8)	1 (0.6)	37 (21.5)	44 (25.6)	10 (5.8)	17 (9.9)	0 (0.0)	12 (7.0)	0 (0.0)
	以上											

(2) 世帯人員

在宅で生活している者の世帯人員は、総数では「2人」が33.7%が最も多く、ついで「3人」19.1%、「1人」が13.2%であった(表4)。

平均世帯人数は3.17人であった。

表4 世帯人員一性別・年齢階級別

	合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	平均世帯人員
総数	1,209 (100.0)	159 (13.2)	408 (33.7)	231 (19.1)	143 (11.8)	268 (22.2)	3.17
性別	男	530 (100.0)	42 (7.9)	199 (37.5)	103 (19.4)	60 (11.3)	126 (23.8)
	女	679 (100.0)	117 (17.2)	209 (30.8)	128 (18.9)	83 (12.2)	142 (20.8)
年齢	65～69歳	302 (100.0)	25 (8.3)	114 (37.7)	73 (24.2)	34 (11.3)	56 (18.5)
	70～74歳	293 (100.0)	37 (12.6)	119 (40.6)	52 (17.7)	29 (9.9)	56 (19.1)
	75～79歳	234 (100.0)	29 (12.4)	89 (38.0)	30 (12.8)	21 (9.0)	65 (27.8)
	80～84歳	208 (100.0)	39 (18.8)	51 (24.5)	33 (15.9)	30 (14.4)	55 (26.5)
	85歳以上	172 (100.0)	29 (16.9)	35 (20.3)	43 (25.0)	29 (16.9)	36 (20.9)

(3) 配偶者との同居・別居

総数では、「同居」62.2%で最も多く、次いで「死別」30.2%であった。

性別で見ると、「同居」で、男性が81.9%、女性が47.7%であった。また、「死別」は、男性で10.5%、女性で44.7%であった。

年代別では、年齢が高くなるほど死別の割合が高かった（表5）。

表5 配偶者との同・別居性別・年齢階級別

	合計	同居	別居	死別	離別	未婚	無回答	
総数	1,303 (100.0)	810 (62.2)	39 (3.0)	394 (30.2)	32 (2.5)	23 (1.8)	5 (0.4)	
性別	男	552 (100.0)	452 (81.9)	20 (3.6)	58 (10.5)	8 (1.4)	12 (2.2)	2 (0.4)
	女	751 (100.0)	358 (47.7)	19 (2.5)	336 (44.7)	24 (3.2)	11 (1.5)	3 (0.4)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	250 (82.0)	2 (0.7)	32 (10.5)	8 (2.6)	12 (3.9)	1 (0.3)
	70～74歳	296 (100.0)	221 (74.7)	8 (2.7)	46 (15.5)	16 (5.4)	4 (1.4)	1 (0.3)
	75～79歳	241 (100.0)	169 (70.1)	7 (2.9)	60 (24.9)	2 (0.8)	2 (0.8)	1 (0.4)
	80～84歳	231 (100.0)	117 (50.6)	10 (4.3)	101 (43.7)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)
	85歳以上	230 (100.0)	53 (23.0)	12 (5.2)	155 (67.4)	5 (2.2)	4 (1.7)	1 (0.4)

3 職 歴

総数では、「生産工程」に従事したことがある者が 30.5%で最も多く、次いで「事務」17.4%、「サービス業」「農林漁業」15.3%であった。

男性では「専門的・技術的職業」20.5%、「建設・採掘」19.0%、「管理的職業」13.9%が多く、女性では「事務」21.3%、「サービス職業」20.2%が多かった。

年代別では、年齢が高くなるほど「農林漁業」に従事したことがある者の割合が高かった(表6)。

表6 職歴—性別・年齢階級別

	合計	管理的 職業	専門的・技 術的職業	事務	販売	サービス 職業	保安職業	
総数	1,303 (100.0)	93 (7.1)	191 (14.7)	227 (17.4)	154 (11.8)	199 (15.3)	16 (1.2)	
性別	男	552 (100.0)	77 (13.9)	113 (20.5)	67 (12.1)	69 (12.5)	47 (8.5)	15 (2.7)
	女	751 (100.0)	16 (2.1)	78 (10.4)	160 (21.3)	85 (11.3)	152 (20.2)	1 (0.1)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	33 (10.8)	51 (16.7)	77 (25.2)	42 (13.8)	59 (19.3)	2 (0.7)
	70～74歳	296 (100.0)	17 (5.7)	38 (12.8)	65 (22.0)	45 (15.2)	49 (16.6)	2 (0.7)
	75～79歳	241 (100.0)	14 (5.8)	39 (16.2)	38 (15.8)	20 (8.3)	35 (14.5)	4 (1.7)
	80～84歳	231 (100.0)	14 (6.1)	37 (16.0)	23 (10.0)	27 (11.7)	32 (13.9)	3 (1.3)
	85歳以上	230 (100.0)	15 (6.5)	26 (11.3)	24 (10.4)	20 (8.7)	24 (10.4)	5 (2.2)

	農林漁業	生産工程	輸送・機械 運 転	建設・ 採掘	運搬・清掃 ・包装等	その他	無回答	
総数	199 (15.3)	398 (30.5)	53 (4.1)	151 (11.6)	76 (5.8)	196 (15.0)	7 (0.5)	
性別	男	87 (15.8)	153 (27.7)	49 (8.9)	105 (19.0)	20 (3.6)	34 (6.2)	3 (0.5)
	女	112 (14.9)	245 (32.6)	4 (0.5)	46 (6.1)	56 (7.5)	162 (21.6)	4 (0.5)
年齢	65～69歳	29 (9.5)	87 (28.5)	12 (3.9)	20 (6.6)	21 (6.9)	42 (13.8)	1 (0.3)
	70～74歳	27 (9.1)	105 (35.5)	15 (5.1)	25 (8.4)	17 (5.7)	28 (9.5)	1 (0.3)
	75～79歳	40 (16.6)	80 (33.2)	13 (5.4)	33 (13.7)	12 (5.0)	32 (13.3)	2 (0.8)
	80～84歳	41 (17.7)	69 (29.9)	7 (3.0)	37 (16.0)	14 (6.1)	40 (17.3)	0 (0.0)
	85歳以上	62 (27.0)	57 (24.8)	6 (2.6)	36 (15.7)	12 (5.2)	54 (23.5)	3 (1.3)

4 最終学歴

総数では、「新制高等学校」26.9%が最も多く、次いで「新制中学校」23.3%であった。

年代別では、若い年代に新制高等学校や大学の割合が高かった(表7)。

表7 最終学歴一性別・年齢階級別

	合計	小学校	高等小学校	旧中学校	女学校	専門学校	
総数	1,303 (100.0)	94 (7.2)	155 (11.9)	90 (6.9)	70 (5.4)	48 (3.7)	
性別	男	552 (100.0)	23 (4.2)	53 (9.6)	47 (8.5)	0 (0.0)	19 (3.4)
	女	751 (100.0)	71 (9.5)	102 (13.6)	43 (5.7)	70 (9.3)	29 (3.9)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	0 (0.0)	8 (2.6)	11 (3.6)	1 (0.3)	16 (5.2)
	70～74歳	296 (100.0)	1 (0.3)	5 (1.7)	10 (3.4)	3 (1.0)	11 (3.7)
	75～79歳	241 (100.0)	1 (0.4)	3 (1.2)	33 (13.7)	1 (0.4)	11 (4.6)
	80～84歳	231 (100.0)	32 (13.9)	64 (27.7)	20 (8.7)	27 (11.7)	3 (1.3)
	85歳以上	230 (100.0)	60 (26.1)	75 (32.6)	16 (7.0)	38 (16.5)	7 (3.0)

	旧高等学校	大学	新制中学校	新制高等学校	その他	無回答	
総数	63 (4.8)	77 (5.9)	304 (23.3)	351 (26.9)	37 (2.8)	14 (1.1)	
性別	男	31 (5.6)	58 (10.5)	115 (20.8)	192 (34.8)	10 (1.8)	4 (0.7)
	女	32 (4.3)	19 (2.5)	189 (25.2)	159 (21.2)	27 (3.6)	10 (1.3)
年齢	65～69歳	9 (3.0)	37 (12.1)	70 (23.0)	138 (45.2)	14 (4.6)	1 (0.3)
	70～74歳	14 (4.7)	14 (4.7)	110 (37.2)	119 (40.2)	5 (1.7)	4 (1.4)
	75～79歳	11 (4.6)	11 (4.6)	98 (40.7)	61 (25.3)	7 (2.9)	4 (1.7)
	80～84歳	14 (6.1)	11 (4.8)	24 (10.4)	30 (13.0)	4 (1.7)	2 (0.9)
	85歳以上	15 (6.5)	4 (1.7)	2 (0.9)	3 (1.3)	7 (3.0)	3 (1.3)

5 健康状態

(1) 身体状況（聴力・視力・会話・歩行・咀嚼）

総数では、聴力：「聞こえる」が84.3%、視力：「見える」が91.3%、会話：「できる」が94.4%、歩行：「歩ける」が81.0%、咀嚼：「主に自分の歯で噛める」が45.4%であった。

年代別では、年齢が高くなるほど各機能が低下し、中でも「聴力」、「歩行」、「咀嚼」の低下が高かった。咀嚼では、「主に自分の歯」が「65～69歳」71.8%であるが、「85歳以上」では15.2%であった(表8)。

表8-1 身体状況（聴力）—性別・年齢階級別

	合計	聞こえる	不自由	ほとんど聞こえない	無回答	
総数	1,303 (100.0)	1,098 (84.3)	188 (14.4)	15 (1.2)	2 (0.2)	
性別	男	552 (100.0)	474 (85.9)	75 (13.6)	3 (0.5)	0 (0.0)
	女	751 (100.0)	624 (83.1)	113 (15.0)	12 (1.6)	2 (0.3)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	291 (95.4)	14 (4.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
	70～74歳	296 (100.0)	270 (91.2)	25 (8.4)	1 (0.3)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	207 (85.9)	33 (13.7)	0 (0.0)	1 (0.4)
	80～84歳	231 (100.0)	181 (78.4)	49 (21.2)	1 (0.4)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	149 (64.8)	67 (29.1)	13 (5.7)	1 (0.4)

表8-2 身体状況（視力）－性別・年齢階級別

	合計	見える	不自由	ほとんど 見えない	無回答	
総数	1,303 (100.0)	1,190 (91.3)	101 (7.8)	9 (0.7)	3 (0.2)	
性別	男	552 (100.0)	513 (92.9)	38 (6.9)	1 (0.2)	0 (0.0)
	女	751 (100.0)	677 (90.1)	63 (8.4)	8 (1.1)	3 (0.4)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	297 (97.4)	7 (2.3)	1 (0.3)	0 (0.0)
	70～74歳	296 (100.0)	273 (92.2)	22 (7.4)	1 (0.3)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	224 (92.9)	15 (6.2)	0 (0.0)	2 (0.8)
	80～84歳	231 (100.0)	202 (87.4)	26 (11.3)	3 (1.3)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	194 (84.3)	31 (13.5)	4 (1.7)	1 (0.4)

表8-3 身体状況（会話）－性別・年齢階級別

	合計	話ができる	不自由	ほとんど 話さない	無回答	
総数	1,303 (100.0)	1,230 (94.4)	26 (2.0)	46 (3.5)	1 (0.1)	
性別	男	552 (100.0)	531 (96.2)	10 (1.8)	11 (2.0)	0 (0.0)
	女	751 (100.0)	699 (93.1)	16 (2.1)	35 (4.7)	1 (0.1)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	298 (97.7)	3 (1.0)	4 (1.3)	0 (0.0)
	70～74歳	296 (100.0)	293 (99.0)	2 (0.7)	1 (0.3)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	234 (97.1)	1 (0.4)	6 (2.5)	0 (0.0)
	80～84歳	231 (100.0)	218 (94.4)	4 (1.7)	9 (3.9)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	187 (81.3)	16 (7.0)	26 (11.3)	1 (0.4)

表8-4 身体状況（歩行）－性別・年齢階級別

	合計	歩ける	不自由	ほとんど 寝たきり	無回答	
総数	1,303 (100.0)	1,055 (81.0)	198 (15.2)	49 (3.8)	1 (0.1)	
性別	男	552 (100.0)	476 (86.2)	62 (11.2)	14 (2.5)	0 (0.0)
	女	751 (100.0)	579 (77.1)	136 (18.1)	35 (4.7)	1 (0.1)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	289 (94.8)	13 (4.3)	3 (1.0)	0 (0.0)
	70～74歳	296 (100.0)	277 (93.6)	17 (5.7)	2 (0.7)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	215 (89.2)	21 (8.7)	5 (2.1)	0 (0.0)
	80～84歳	231 (100.0)	160 (69.3)	63 (27.3)	7 (3.0)	1 (0.4)
	85歳以上	230 (100.0)	114 (49.6)	84 (36.5)	32 (13.9)	0 (0.0)

表8-5 身体状況（咀嚼）－性別・年齢階級別

	合計	主に自分 の歯	主に 入れ歯	総入れ歯	歯も入れ 歯もない	無回答	
総数	1,303 (100.0)	591 (45.4)	387 (29.7)	280 (21.5)	41 (3.1)	4 (0.3)	
性別	男	552 (100.0)	260 (47.1)	148 (26.8)	127 (23.0)	15 (2.7)	2 (0.4)
	女	751 (100.0)	331 (44.1)	239 (31.8)	153 (20.4)	26 (3.5)	2 (0.3)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	219 (71.8)	64 (21.0)	17 (5.6)	4 (1.3)	1 (0.3)
	70～74歳	296 (100.0)	172 (58.1)	88 (29.7)	33 (11.1)	3 (1.0)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	98 (40.7)	92 (38.2)	46 (19.1)	4 (1.7)	1 (0.4)
	80～84歳	231 (100.0)	67 (29.0)	83 (35.9)	73 (31.6)	8 (3.5)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	35 (15.2)	60 (26.1)	111 (48.3)	22 (9.6)	2 (0.9)

(2) 外出状況

外出状況は、総数では「バス等で外出」76.0%、「家の周辺」10.3%、「家の中のみ」8.4%、「寝たきり」4.9%であった。

年代別では、「バス等で外出」は年齢が高くなるほどその割合が減少し、「80～84歳」で61.0%、「85歳以上」で31.7%であった（表9）。

表9 外出状況－性別・年齢階級別

	合計	バス等 で外出	家の周辺	家の中 のみ動く	寝たきり	無回答	
総数	1,303 (100.0)	990 (76.0)	134 (10.3)	110 (8.4)	64 (4.9)	5 (0.4)	
性別	男	552 (100.0)	468 (84.8)	31 (5.6)	34 (6.2)	16 (2.9)	3 (0.5)
	女	751 (100.0)	522 (69.5)	103 (13.7)	76 (10.1)	48 (6.4)	2 (0.3)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	291 (95.4)	4 (1.3)	4 (1.3)	3 (1.0)	3 (1.0)
	70～74歳	296 (100.0)	275 (92.9)	12 (4.1)	7 (2.4)	2 (0.7)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	210 (87.1)	17 (7.1)	8 (3.3)	6 (2.5)	0 (0.0)
	80～84歳	231 (100.0)	141 (61.0)	48 (20.8)	27 (11.7)	14 (6.1)	1 (0.4)
	85歳以上	230 (100.0)	73 (31.7)	53 (23.0)	64 (27.8)	39 (17.0)	1 (0.4)

(3) 日常生活状況（食事・更衣・入浴・排泄）

総数では、自立が「食事」94.1%、「更衣」88.9%、「入浴」84.3%、「排泄」89.2%であった。年代別では、各動作について年齢が高くなるほど一部介助や全面介助の割合が高くなっていった。

しかし「食事」に関しては、「85歳以上」で79.1%が自立であり、他の動作に比べて自立の割合が高かった（表10）。

表10-1 日常生活動作（食事）—性別・年齢階級別

	合計	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	1,303 (100.0)	1,226 (94.1)	28 (2.1)	19 (1.5)	30 (2.3)	0 (0.0)	
性別	男	552 (100.0)	534 (96.7)	8 (1.4)	2 (0.4)	8 (1.4)	0 (0.0)
	女	751 (100.0)	692 (92.1)	20 (2.7)	17 (2.3)	22 (2.9)	0 (0.0)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	303 (99.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)	0 (0.0)
	70～74歳	296 (100.0)	294 (99.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	1 (0.3)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	234 (97.1)	1 (0.4)	1 (0.4)	5 (2.1)	0 (0.0)
	80～84歳	231 (100.0)	213 (92.2)	9 (3.9)	5 (2.2)	4 (1.7)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	182 (79.1)	17 (7.4)	13 (5.7)	18 (7.8)	0 (0.0)

表10-2 日常生活動作（更衣）—性別・年齢階級別

	合計	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	1,303 (100.0)	1,159 (88.9)	29 (2.2)	46 (3.5)	69 (5.3)	0 (0.0)	
性別	男	552 (100.0)	501 (90.8)	13 (2.4)	17 (3.1)	21 (3.8)	0 (0.0)
	女	751 (100.0)	658 (87.6)	16 (2.1)	29 (3.9)	48 (6.4)	0 (0.0)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	302 (99.0)	1 (0.3)	0 (0.0)	2 (0.7)	0 (0.0)
	70～74歳	296 (100.0)	288 (97.3)	2 (0.7)	3 (1.0)	3 (1.0)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	227 (94.2)	3 (1.2)	3 (1.2)	8 (3.3)	0 (0.0)
	80～84歳	231 (100.0)	198 (85.7)	10 (4.3)	12 (5.2)	11 (4.8)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	144 (62.6)	13 (5.7)	28 (12.2)	45 (19.6)	0 (0.0)

表 10-3 日常生活動作（入浴）－性別・年齢階級別

	合計	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	1,303 (100.0)	1,098 (84.3)	28 (2.1)	82 (6.3)	94 (7.2)	1 (0.1)	
性別	男	552 (100.0)	489 (88.6)	14 (2.5)	20 (3.6)	28 (5.1)	1 (0.2)
	女	751 (100.0)	609 (81.1)	14 (1.9)	62 (8.3)	66 (8.8)	0 (0.0)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	299 (98.0)	2 (0.7)	1 (0.3)	3 (1.0)	0 (0.0)
	70～74歳	296 (100.0)	284 (95.9)	4 (1.4)	5 (1.7)	3 (1.0)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	221 (91.7)	3 (1.2)	10 (4.1)	7 (2.9)	0 (0.0)
	80～84歳	231 (100.0)	184 (79.7)	5 (2.2)	22 (9.5)	20 (8.7)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	110 (47.8)	14 (6.1)	44 (19.1)	61 (26.5)	1 (0.4)

表 10-4 日常生活動作（排泄）－性別・年齢階級別

	合計	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	1,303 (100.0)	1,162 (89.2)	16 (1.2)	55 (4.2)	67 (5.1)	3 (0.2)	
性別	男	552 (100.0)	507 (91.8)	8 (1.4)	20 (3.6)	17 (3.1)	0 (0.0)
	女	751 (100.0)	655 (87.2)	8 (1.1)	35 (4.7)	50 (6.7)	3 (0.4)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	299 (98.0)	1 (0.3)	1 (0.3)	2 (0.7)	2 (0.7)
	70～74歳	296 (100.0)	289 (97.6)	2 (0.7)	4 (1.4)	1 (0.3)	0 (0.0)
	75～79歳	241 (100.0)	230 (95.4)	1 (0.4)	3 (1.2)	7 (2.9)	0 (0.0)
	80～84歳	231 (100.0)	202 (87.4)	6 (2.6)	12 (5.2)	11 (4.8)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	142 (61.7)	6 (2.6)	35 (15.2)	46 (20.0)	1 (0.4)

(4) 要介護認定

総数では、要介護認定を「受けている」20.3%、「申請していない」78.9%であった。

年代別では年齢が高くなるほど要介護認定を「受けている」割合が高かった。

介護認定を受けている者では「要支援1」13.2%、「要支援2」13.2%、「要介護1」15.8%、「要介護2」18.9%、「要介護3」13.6%、「要介護4」13.2%、「要介護5」10.6%であった

(表11)。

表11 要介護認定状況－性別・年齢階級別 (％：総数に対する)

	総数	受けている	認定ありの内訳 <％；要介護認定者に対する>							申請中	申請していない	無回答		
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5					
総数	1,303 (100.0)	265 (20.3)	35 <13.2>	35 <13.2>	42 <15.8>	50 <18.9>	36 <13.6>	35 <13.2>	28 <10.6>	4 <1.5>	6 (0.5)	1,028 (78.9)	4 (0.3)	
性別	男	552 (100.0)	84 (15.2)	10 <11.9>	7 <8.3>	20 <23.8>	19 <22.6>	11 <13.1>	10 <11.9>	5 <6.0>	2 <2.4>	3 (0.5)	464 (84.1)	1 (0.2)
	女	751 (100.0)	181 (24.1)	25 <13.8>	28 <15.5>	22 <12.2>	31 <17.1>	25 <13.8>	25 <13.8>	23 <12.7>	2 <1.1>	3 (0.4)	564 (75.1)	3 (0.4)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	16 (5.2)	2 <12.5>	6 <37.5>	2 <12.5>	3 <18.8>	0 <0.0>	1 <6.3>	2 <12.5>	0 <0.0>	0 (0.0)	288 (94.4)	1 (0.3)
	70～74歳	296 (100.0)	20 (6.8)	5 <25.0>	4 <20.0>	2 <10.0>	5 <25.0>	2 <10.0>	2 <10.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	1 (0.3)	273 (92.2)	2 (0.7)
	75～79歳	241 (100.0)	30 (12.4)	5 <16.7>	4 <13.3>	8 <26.7>	0 <0.0>	5 <16.7>	2 <6.7>	5 <16.7>	1 <3.3>	1 (0.4)	210 (87.1)	0 (0.0)
	80～84歳	231 (100.0)	66 (28.6)	9 <13.6>	10 <15.2>	14 <21.2>	14 <21.2>	8 <12.1>	8 <12.1>	2 <3.0>	1 <1.5>	3 (1.3)	162 (70.1)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	133 (57.8)	14 <10.5>	11 <8.3>	16 <12.0>	28 <21.1>	21 <15.8>	22 <16.5>	19 <14.3>	2 <1.5>	1 (0.4)	95 (41.3)	1 (0.4)
	在宅	1209 (100.0)	179 (14.8)	35 <19.6>	31 <17.3>	37 <20.7>	36 <20.1>	20 <11.2>	11 <6.1>	6 <3.4>	3 <1.7>	4 (0.3)	1,021 (84.4)	4 (0.3)
場所	入院	24 (100.0)	17 (70.8)	0 <0.0>	1 <5.9>	2 <11.8>	1 <5.9>	3 <17.6>	1 <5.9>	9 <52.9>	0 <0.0>	2 (8.3)	5 (20.8)	0 (0.0)
	入所	70 (100.0)	69 (98.6)	0 <0.0>	3 <4.3>	3 <4.3>	13 <18.8>	13 <18.8>	23 <33.3>	13 <18.8>	1 <1.4>	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)

(5) 既往歴 (40 歳以上)

総数では、既往歴「あり」93.0%、「なし」7.0%であり、70 歳以上で90%を超えていた。

疾患別では、「高血圧症」46.8%、「眼疾患」21.5%、「高脂血症」16.7%の順で高かった。

性別では、女性より男性に「消化器系疾患」、「糖尿病」、「脳卒中」、「狭心症・心筋梗塞」が多く、男性より女性が「骨粗鬆症」、「骨折」、「高脂血症」、「眼疾患」が多かった(表 12)。

表 12-1 既往歴 (40 歳以降) - 性別・年齢階級別

		総数	あり	なし
総数		1,303 (100.0)	1,212 (93.0)	91 (7.0)
性別	男	552 (100.0)	505 (91.5)	47 (8.5)
	女	751 (100.0)	707 (94.1)	44 (5.9)
年齢	65~69 歳	305 (100.0)	263 (86.2)	42 (13.8)
	70~74 歳	296 (100.0)	274 (92.6)	22 (7.4)
	75~79 歳	241 (100.0)	226 (93.8)	15 (6.2)
	80~84 歳	231 (100.0)	224 (97.0)	7 (3.0)
	85 歳以上	230 (100.0)	225 (97.8)	5 (2.2)

表 12-2 既往歴 (40 歳以降) - 性別・年齢階級別

		既往歴 / 40 歳以降 (複数回答)									
総数		糖尿病	高脂血症	甲状腺	うつ病	統合失調症	認知症	パーキンソン病	眼疾患	耳疾患	
総数		1,303 (100.0)	201 (15.4)	218 (16.7)	38 (2.9)	24 (1.8)	4 (0.3)	93 (7.1)	19 (1.5)	280 (21.5)	52 (4.0)
性別	男	552 (100.0)	104 (18.8)	62 (11.2)	7 (1.3)	8 (1.4)	2 (0.4)	34 (6.2)	8 (1.4)	87 (15.8)	19 (3.4)
	女	751 (100.0)	97 (12.9)	156 (20.8)	31 (4.1)	16 (2.1)	2 (0.3)	59 (7.9)	11 (1.5)	193 (25.7)	33 (4.4)
年齢	65 ~ 69 歳	305 (100.0)	35 (11.5)	53 (17.4)	12 (3.9)	6 (2.0)	2 (0.7)	5 (1.6)	2 (0.7)	33 (10.8)	8 (2.6)
	70 ~ 74 歳	296 (100.0)	49 (16.6)	59 (19.9)	5 (1.7)	5 (1.7)	2 (0.7)	4 (1.4)	4 (1.4)	57 (19.3)	19 (6.4)
	75 ~ 79 歳	241 (100.0)	42 (17.4)	48 (19.9)	8 (3.3)	5 (2.1)	0 (0.0)	11 (4.6)	3 (1.2)	56 (23.2)	15 (6.2)
	80 ~ 84 歳	231 (100.0)	43 (18.6)	31 (13.4)	7 (3.0)	5 (2.2)	0 (0.0)	26 (11.3)	4 (1.7)	62 (26.8)	7 (3.0)
	85 歳以上	230 (100.0)	32 (13.9)	27 (11.7)	6 (2.6)	3 (1.3)	0 (0.0)	47 (20.4)	6 (2.6)	72 (31.3)	3 (1.3)

		既往歴 / 40歳以降 (複数回答)									
		高血圧症	脳卒中	狭心症・心筋梗塞	喘息	慢性閉塞性肺疾患	消化器疾患	歯科口腔疾患	関節リウマチ	関節症	骨粗鬆症
	総数	610 (46.8)	121 (9.3)	124 (9.5)	29 (2.2)	10 (0.8)	148 (11.4)	150 (11.5)	34 (2.6)	155 (11.9)	135 (10.4)
性別	男	241 (43.7)	61 (11.1)	64 (11.6)	6 (1.1)	7 (1.3)	85 (15.4)	64 (11.6)	10 (1.8)	43 (7.8)	6 (1.1)
	女	369 (49.1)	60 (8.0)	60 (8.0)	23 (3.1)	3 (0.4)	63 (8.4)	86 (11.5)	24 (3.2)	112 (14.9)	129 (17.2)
年齢	65～69歳	115 (37.7)	22 (7.2)	14 (4.6)	7 (2.3)	1 (0.3)	32 (10.5)	33 (10.8)	4 (1.3)	19 (6.2)	20 (6.6)
	70～74歳	134 (45.3)	23 (7.8)	12 (4.1)	2 (0.7)	3 (1.0)	27 (9.1)	39 (13.2)	15 (5.1)	28 (9.5)	26 (8.8)
	75～79歳	120 (49.8)	18 (7.5)	26 (10.8)	7 (2.9)	2 (0.8)	28 (11.6)	34 (14.1)	5 (2.1)	30 (12.4)	23 (9.5)
	80～84歳	123 (53.2)	28 (12.1)	35 (15.2)	5 (2.2)	0 (0.0)	26 (11.3)	18 (7.8)	4 (1.7)	37 (16.0)	29 (12.6)
	85歳以上	118 (51.3)	30 (13.0)	37 (16.1)	8 (3.5)	4 (1.7)	35 (15.2)	26 (11.3)	6 (2.6)	41 (17.8)	37 (16.1)

		既往歴 / 40歳以降 (複数回答)								
		腎疾患	前立腺	婦人科系疾患	骨折	けが・熱傷	血液疾患	悪性新生物	その他	なし
	総数	53 (4.1)	81 (6.2)	67 (5.1)	207 (15.9)	81 (6.2)	33 (2.5)	152 (11.7)	295 (22.6)	91 (7.0)
性別	男	26 (4.7)	80 (14.5)	0 (0.0)	53 (9.6)	40 (7.2)	12 (2.2)	76 (13.8)	121 (21.9)	47 (8.5)
	女	27 (3.6)	1 (0.1)	65 (8.7)	154 (20.5)	41 (5.5)	21 (2.8)	76 (10.1)	174 (23.2)	44 (5.9)
年齢	65～69歳	9 (3.0)	16 (5.2)	14 (4.6)	31 (10.2)	19 (6.2)	5 (1.6)	27 (8.9)	62 (20.3)	42 (13.8)
	70～74歳	5 (1.7)	13 (4.4)	20 (6.8)	36 (12.2)	16 (5.4)	5 (1.7)	32 (10.8)	65 (22.0)	22 (7.4)
	75～79歳	10 (4.1)	19 (7.9)	12 (5.0)	24 (10.0)	17 (7.1)	10 (4.1)	23 (9.5)	37 (15.4)	15 (6.2)
	80～84歳	12 (5.2)	17 (7.4)	9 (3.9)	50 (21.6)	14 (6.1)	6 (2.6)	39 (16.9)	57 (24.7)	7 (3.0)
	85歳以上	17 (7.4)	16 (7.0)	12 (5.2)	66 (28.7)	15 (6.5)	7 (3.0)	31 (13.5)	74 (32.2)	5 (2.2)

(6) 現在の受診状況

総数では、「受診あり」82.3%、「受診なし」17.7%であった。性別による差はなく、年代別では70歳以上で80%を超えていた。

疾患別では、「高血圧症」43.5%、「高脂血症」15.0%、「糖尿病」14.3%の順で高かった。

性別では、女性より男性に「糖尿病」、「脳卒中」、「狭心症・心筋梗塞」が多く、男性より女性に「高脂血症」、「眼疾患」、「関節症」、「骨粗鬆症」「骨折」が高かった（表13）。

表13-1 現在の受診状況—性別・年齢階級別

		総数	あり	なし
総数		1,303 (100.0)	1,073 (82.3)	230 (17.7)
性別	男	552 (100.0)	443 (80.3)	109 (19.7)
	女	751 (100.0)	630 (83.9)	121 (16.1)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	217 (71.1)	88 (28.9)
	70～74歳	296 (100.0)	240 (81.1)	56 (18.9)
	75～79歳	241 (100.0)	208 (86.3)	33 (13.7)
	80～84歳	231 (100.0)	207 (89.6)	24 (10.4)
	85歳以上	230 (100.0)	201 (87.4)	29 (12.6)

表13-2 現在の受診状況—性別・年齢階級別

		受診状況 / 疾患 (複数回答)									
		総数	糖尿病	高脂血症	甲状腺	うつ病	統合失調症	認知症	パーキンソン病	眼疾患	耳疾患
総数		1,303 (100.0)	186 (14.3)	196 (15.0)	33 (2.5)	15 (1.2)	4 (0.3)	60 (4.6)	18 (1.4)	163 (12.5)	25 (1.9)
性別	男	552 (100.0)	96 (17.4)	54 (9.8)	6 (1.1)	7 (1.3)	2 (0.4)	27 (4.9)	8 (1.4)	47 (8.5)	10 (1.8)
	女	751 (100.0)	90 (12.0)	142 (18.9)	27 (3.6)	8 (1.1)	2 (0.3)	33 (4.4)	10 (1.3)	116 (15.4)	15 (2.0)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	33 (10.8)	46 (15.1)	10 (3.3)	3 (1.0)	2 (0.7)	5 (1.6)	2 (0.7)	17 (5.6)	4 (1.3)
	70～74歳	296 (100.0)	46 (15.5)	51 (17.2)	4 (1.4)	2 (0.7)	2 (0.7)	4 (1.4)	4 (1.4)	38 (12.8)	9 (3.0)
	75～79歳	241 (100.0)	39 (16.2)	46 (19.1)	7 (2.9)	4 (1.7)	0 (0.0)	5 (2.1)	3 (1.2)	34 (14.1)	8 (3.3)
	80～84歳	231 (100.0)	38 (16.5)	30 (13.0)	6 (2.6)	4 (1.7)	0 (0.0)	21 (9.1)	4 (1.7)	39 (16.9)	3 (1.3)
	85歳以上	230 (100.0)	30 (13.0)	23 (10.0)	6 (2.6)	2 (0.9)	0 (0.0)	25 (10.9)	5 (2.2)	35 (15.2)	1 (0.4)

		受診状況 / 疾患 (複数回答)									
		高血 圧症	脳卒中	狭心症 ・心筋 梗塞	喘息	慢性閉 塞性肺 疾患	消化器 疾患	歯科口 腔疾患	関節リ ウマチ	関節症	骨粗 鬆症
	総数	567 (43.5)	100 (7.7)	124 (9.5)	20 (1.5)	6 (0.5)	63 (4.8)	62 (4.8)	26 (2.0)	104 (8.0)	114 (8.7)
性別	男	226 (40.9)	51 (9.2)	124 (9.5)	4 (0.7)	5 (0.9)	30 (5.4)	24 (4.3)	6 (1.1)	26 (4.7)	2 (0.4)
	女	341 (45.4)	49 (6.5)	58 (7.7)	16 (2.1)	1 (0.1)	33 (4.4)	38 (5.1)	20 (2.7)	78 (10.4)	112 (14.9)
年齢	65～ 69歳	108 (35.4)	21 (6.9)	13 (4.3)	4 (1.3)	0 (0.0)	13 (4.3)	8 (2.6)	1 (0.3)	12 (3.9)	17 (5.6)
	70～ 74歳	125 (42.2)	19 (6.4)	20 (6.8)	2 (0.7)	2 (0.7)	13 (4.4)	15 (5.1)	12 (4.1)	17 (5.7)	22 (7.4)
	75～ 79歳	113 (46.9)	13 (5.4)	22 (9.1)	4 (1.7)	2 (0.8)	13 (5.4)	18 (7.5)	5 (2.1)	24 (10.0)	21 (8.7)
	80～ 84歳	118 (51.1)	25 (10.8)	34 (14.7)	3 (1.3)	0 (0.0)	8 (3.5)	10 (4.3)	4 (1.7)	27 (11.7)	25 (10.8)
	85歳 以上	103 (44.8)	22 (9.6)	35 (15.2)	7 (3.0)	2 (0.9)	16 (7.0)	11 (4.8)	4 (1.7)	24 (10.4)	29 (12.6)

		受診状況 / 疾患 (複数回答)								
		腎疾患	前立腺	婦人科系 疾患	骨折	けが・ 熱傷	血液 疾患	悪性新 生物	その他	なし
	総数	33 (2.5)	57 (4.4)	14 (1.1)	48 (3.7)	21 (1.6)	16 (1.2)	72 (5.5)	159 (12.2)	230 (17.7)
性別	男	19 (3.4)	56 (10.1)	0 (0.0)	9 (1.6)	6 (1.1)	5 (0.9)	34 (6.2)	68 (12.3)	109 (19.7)
	女	14 (1.9)	1 (0.1)	14 (1.9)	39 (5.2)	15 (2.0)	11 (1.5)	38 (5.1)	91 (12.1)	121 (16.1)
年齢	65～ 69歳	6 (2.0)	11 (3.6)	2 (0.7)	4 (1.3)	3 (1.0)	1 (0.3)	17 (5.6)	29 (9.5)	88 (28.9)
	70～ 74歳	2 (0.7)	11 (3.7)	6 (2.0)	8 (2.7)	5 (1.7)	2 (0.7)	17 (5.7)	37 (12.5)	56 (18.9)
	75～ 79歳	9 (3.7)	14 (5.8)	2 (0.8)	6 (2.5)	3 (1.2)	6 (2.5)	10 (4.1)	24 (10.0)	33 (13.7)
	80～ 84歳	7 (3.0)	11 (4.8)	2 (0.9)	20 (8.7)	9 (3.9)	2 (0.9)	17 (7.4)	31 (13.4)	24 (10.4)
	85歳 以上	9 (3.9)	10 (4.3)	2 (0.9)	10 (4.3)	1 (0.4)	5 (2.2)	11 (4.8)	38 (16.5)	29 (12.6)

(7) 心の健康状態（意欲・食欲・睡眠・活動性・物忘れ・精神状態等）

1) 本人が自覚している心の健康状態

総数では、自覚症状「あり」が33.4%、「なし」が59.3%であった。

性別では、自覚症状「あり」は、女性37.4%で男性27.9%より高かった。

年代別では、「80～84歳」までは年齢が高くなるほど自覚症状「あり」の者の割合が高かったが、「85歳以上」では「75～79歳」より割合が低くなっている（表14-1）。

症状別では、「物忘れ」16.1%、「夜眠れない」10.3%、「億劫である」7.8%、「身体のこと気が気になる」6.7%であった。ほとんどの症状において、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向があった（表14-2）。

2) 家族からみた対象者の心の健康状態

回答者1,303人のうち家族等から情報が得られた764人において、何らかの症状「あり」が30.2%、「なし」が69.1%であった。

年代別では、年齢が高くなるほど何らかの症状「あり」の者が多くなっていた。

性別では、症状「あり」は、女性32.3%で男性28.0%より高かった。

年代別では、概ね年齢が高くなるほど症状「あり」の者の割合が高かった（表14-1）。

症状別では、「頑固・いこじ」8.6%、「物忘れ」8.0%、「やる気が乏しい」7.1%、「夜眠らない」6.7%、「自分勝手」6.5%の順であった。ほとんどの症状において、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向があった（表14-3）。

表14-1 心の健康状態—性別・年齢階級別

	総数	本人の自覚症状			家族からみた症状				
		総数	あり	なし	無回答	総数	あり	なし	無回答
総数	1,303	435	773	95	764	231	528	5	
	(100.0)	(33.4)	(59.3)	(7.3)	(100.0)	(30.2)	(69.1)	(0.7)	
性別	男	552	154	367	31	371	104	266	1
		(100.0)	(27.9)	(66.5)	(5.6)	(100.0)	(28.0)	(71.7)	(0.3)
	女	751	281	406	64	393	127	262	4
		(100.0)	(37.4)	(54.1)	(8.5)	(100.0)	(32.3)	(66.7)	(1.0)
年齢	65～69歳	305	70	222	13	177	33	143	1
		(100.0)	(22.9)	(72.8)	(4.3)	(100.0)	(18.6)	(80.8)	(0.6)
	70～74歳	296	85	203	8	170	31	139	0
		(100.0)	(28.7)	(68.6)	(2.7)	(100.0)	(18.2)	(81.8)	(0.0)
	75～79歳	241	92	141	8	142	38	103	1
		(100.0)	(38.2)	(58.5)	(3.3)	(100.0)	(26.8)	(72.5)	(0.7)
	80～84歳	231	106	108	17	142	63	79	0
		(100.0)	(45.8)	(46.8)	(7.4)	(100.0)	(44.4)	(55.6)	(0.0)
	85歳以上	230	82	99	49	133	66	64	3
		(100.0)	(35.7)	(43.0)	(21.3)	(100.0)	(49.6)	(48.1)	(2.3)

※回答者1,303人のうち、家族等から情報が得られた者

表 14-2 本人が自覚している心の健康状態－性別・年齢階級別

	合計	食欲が ない	夜眠れな いで困る	朝方気分 が悪い	億劫で ある	身体が気 になる	いつも 不安	
総数	1,303 (100.0)	57 (4.4)	134 (10.3)	34 (2.6)	101 (7.8)	87 (6.7)	86 (6.6)	
性別	男	552 (100.0)	23 (4.2)	46 (8.3)	11 (2.0)	38 (6.9)	34 (6.2)	30 (5.4)
	女	751 (100.0)	34 (4.5)	88 (11.7)	23 (3.1)	63 (8.4)	53 (7.1)	56 (7.5)
年齢	65～69 歳	305 (100.0)	5 (1.6)	24 (7.9)	5 (1.6)	17 (5.6)	17 (5.6)	12 (3.9)
	70～74 歳	296 (100.0)	7 (2.4)	43 (14.5)	5 (1.7)	15 (5.1)	15 (5.1)	16 (5.4)
	75～79 歳	241 (100.0)	7 (2.9)	21 (8.7)	7 (2.9)	23 (9.5)	22 (9.1)	21 (8.7)
	80～84 歳	231 (100.0)	22 (9.5)	30 (13.0)	11 (4.8)	27 (11.7)	19 (8.2)	26 (11.3)
	85 歳以上	230 (100.0)	16 (7.0)	16 (7.0)	6 (2.6)	19 (8.3)	14 (6.1)	11 (4.8)

	落ち着か ない	不必要と 思うこと やる	気分が集 中しない	死にたい と思う	物忘れが 多い	特になし	無回答	
総数	28 (2.1)	45 (3.5)	41 (3.1)	33 (2.5)	210 (16.1)	773 (59.3)	95 (7.3)	
性別	男	11 (2.0)	15 (2.7)	15 (2.7)	11 (2.0)	83 (15.0)	367 (66.5)	31 (5.6)
	女	17 (2.3)	30 (4.0)	26 (3.5)	22 (2.9)	127 (16.9)	406 (54.1)	64 (8.5)
年齢	65～69 歳	6 (2.0)	5 (1.6)	7 (2.3)	8 (2.6)	28 (9.2)	222 (72.8)	13 (4.3)
	70～74 歳	4 (1.4)	10 (3.4)	8 (2.7)	3 (1.0)	35 (11.8)	203 (68.6)	8 (2.7)
	75～79 歳	7 (2.9)	11 (4.6)	9 (3.7)	6 (2.5)	45 (18.7)	141 (58.5)	8 (3.3)
	80～84 歳	9 (3.9)	10 (4.3)	12 (5.2)	9 (3.9)	52 (22.5)	108 (46.8)	17 (7.4)
	85 歳以上	2 (0.9)	9 (3.9)	5 (2.2)	7 (3.0)	50 (21.7)	99 (43.0)	49 (21.3)

表 14-3 家族からみた対象者の心の健康状態—性別・年齢階級別

	合計	元気が ない	食欲が ない	悪い方に 考える	落ち着 かない	朝気分 が悪い	身体の不調 を訴える	頻繁に受 診する	
総数	764 (100.0)	31 (4.1)	37 (4.8)	48 (6.3)	25 (3.3)	22 (2.9)	28 (3.7)	7 (0.9)	
性別	男	371 (100.0)	12 (3.2)	21 (5.7)	20 (5.4)	15 (4.0)	3 (0.8)	10 (2.7)	1 (0.3)
	女	393 (100.0)	19 (4.8)	16 (4.1)	28 (7.1)	10 (2.5)	19 (4.8)	18 (4.6)	6 (1.5)
年齢	65～69 歳	177 (100.0)	4 (2.3)	3 (1.7)	8 (4.5)	4 (2.3)	5 (2.8)	5 (2.8)	0 (0.0)
	70～74 歳	170 (100.0)	1 (0.6)	1 (0.6)	7 (4.1)	5 (2.9)	2 (1.2)	2 (1.2)	2 (1.2)
	75～79 歳	142 (100.0)	5 (3.5)	5 (3.5)	7 (4.9)	5 (3.5)	2 (1.4)	3 (2.1)	2 (1.4)
	80～84 歳	142 (100.0)	13 (9.2)	12 (8.5)	15 (10.6)	4 (2.8)	8 (5.6)	12 (8.5)	1 (0.7)
	85 歳以上	133 (100.0)	8 (6.0)	16 (12.0)	11 (8.3)	7 (5.3)	5 (3.8)	6 (4.5)	2 (1.5)

	夜眠ら ない	邪推が ひどい	幻覚・幻 聴がある	物忘れが ひどい	夜ねぼ ける	夜と昼と 勘違い	迷子に なる	
総数	51 (6.7)	22 (2.9)	15 (2.0)	61 (8.0)	8 (1.0)	30 (3.9)	3 (0.4)	
性別	男	19 (5.1)	8 (2.2)	8 (2.2)	23 (6.2)	3 (0.8)	13 (3.5)	1 (0.3)
	女	32 (8.1)	14 (3.6)	7 (1.8)	38 (9.7)	5 (1.3)	17 (4.3)	2 (0.5)
年齢	65～69 歳	7 (4.0)	3 (1.7)	3 (1.7)	2 (1.1)	1 (0.6)	2 (1.1)	0 (0.0)
	70～74 歳	12 (7.1)	3 (1.8)	0 (0.0)	6 (3.5)	2 (1.2)	2 (1.2)	1 (0.6)
	75～79 歳	8 (5.6)	1 (0.7)	2 (1.4)	7 (4.9)	0 (0.0)	1 (0.7)	0 (0.0)
	80～84 歳	11 (7.7)	9 (6.3)	4 (2.8)	20 (14.1)	2 (1.4)	8 (5.6)	0 (0.0)
	85 歳以上	13 (9.8)	6 (4.5)	6 (4.5)	26 (19.5)	3 (2.3)	17 (12.8)	2 (1.5)

		とても 頑固	自分勝手	喜怒哀楽 が激しい	閉じこも りがち	やる気が 乏しい	特になし	無回答
	総数	66 (8.6)	50 (6.5)	39 (5.1)	32 (4.2)	54 (7.1)	528 (69.1)	5 (0.7)
性別	男	39 (10.5)	22 (5.9)	18 (4.9)	16 (4.3)	22 (5.9)	266 (71.7)	1 (0.3)
	女	27 (6.9)	28 (7.1)	21 (5.3)	16 (4.1)	32 (8.1)	262 (66.7)	4 (1.0)
年齢	65～69歳	8 (4.5)	6 (3.4)	8 (4.5)	4 (2.3)	6 (3.4)	143 (80.8)	1 (0.6)
	70～74歳	10 (5.9)	4 (2.4)	3 (1.8)	4 (2.4)	5 (2.9)	139 (81.8)	0 (0.0)
	75～79歳	9 (6.3)	6 (4.2)	8 (5.6)	7 (4.9)	11 (7.7)	103 (72.5)	1 (0.7)
	80～84歳	21 (14.8)	14 (9.9)	10 (7.0)	8 (5.6)	17 (12.0)	79 (55.6)	0 (0.0)
	85歳以上	18 (13.5)	20 (15.0)	10 (7.5)	9 (6.8)	15 (11.3)	64 (48.1)	3 (2.3)

(8) 性格の変化

総数では、若い頃からの性格の変化「あり」11.3%、「なし」83.7%であった。

性別では、性格の変化があった者が、男性13.0%、女性10.0%であった(表15-1)。

性格が変化した年代は、「80～84歳」21.1%、「70～74歳」17.0%、「85歳以上」15.0%であった(表15-2)。

表 15-1 性格の変化—性別・年齢階級別

	総数	性格の変化			
		あり	なし	無回答	
総数	1,303 (100.0)	147 (11.3)	1091 (83.7)	65 (5.0)	
性別	男	552 (100.0)	72 (13.0)	459 (83.2)	21 (3.8)
	女	751 (100.0)	75 (10.0)	632 (84.2)	44 (5.9)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	23 (7.5)	268 (87.9)	14 (4.6)
	70～74歳	296 (100.0)	22 (7.4)	258 (87.2)	16 (5.4)
	75～79歳	241 (100.0)	31 (12.9)	196 (81.3)	14 (5.8)
	80～84歳	231 (100.0)	28 (12.1)	197 (85.3)	6 (2.6)
	85歳以上	230 (100.0)	43 (18.7)	172 (74.8)	15 (6.5)

表 15-2 性格変化の年齢—性別・年齢階級別

	総数	50歳未満	50～64歳	65～69歳	70～74歳	74～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	
総数	147 (100.0)	3 (2.0)	19 (12.9)	18 (12.2)	25 (17.0)	18 (12.2)	31 (21.1)	22 (15.0)	11 (7.5)	
性別	男	72 (100.0)	2 (2.8)	9 (12.5)	10 (13.9)	10 (13.9)	10 (13.9)	18 (25.0)	5 (6.9)	8 (11.1)
	女	75 (100.0)	1 (1.3)	10 (13.3)	8 (10.7)	15 (20.0)	8 (10.7)	13 (17.3)	17 (22.7)	3 (4.0)
年齢	65～69歳	23 (100.0)	2 (8.7)	10 (43.5)	8 (34.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (13.0)
	70～74歳	22 (100.0)	0 (0.0)	4 (18.2)	7 (31.8)	10 (45.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.5)
	75～79歳	31 (100.0)	1 (3.2)	4 (12.9)	1 (3.2)	12 (38.7)	11 (35.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.5)
	80～84歳	28 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (7.1)	4 (14.3)	20 (71.4)	1 (3.6)	1 (3.6)
	85歳以上	43 (100.0)	0 (0.0)	1 (2.3)	2 (4.7)	1 (2.3)	3 (7.0)	11 (25.6)	21 (48.8)	4 (9.3)

(9) 物忘れの状況

1) 物忘れ

総数では、「やや気になる」18.6%、「とても気になる」7.6%であった。男女差はなかった。

年代別では、年齢が高くなるほど「(やや・とても) 気になる」の割合が高かった(表 16-1)。

表 16-1 物忘れ—性別・年齢階級別

	総数	気にならない	あまり気にならない	やや気になる	とても気になる	無回答	
総数	764 (100.0)	363 (47.5)	200 (26.2)	142 (18.6)	58 (7.6)	1 (0.1)	
性別	男	371 (100.0)	177 (47.7)	94 (25.3)	77 (20.8)	23 (6.2)	0 (0.0)
	女	393 (100.0)	186 (47.3)	106 (27.0)	65 (16.5)	35 (8.9)	1 (0.3)
年齢	65～69 歳	177 (100.0)	104 (58.8)	40 (22.6)	27 (15.3)	6 (3.4)	0 (0.0)
	70～74 歳	170 (100.0)	99 (58.2)	39 (22.9)	29 (17.1)	3 (1.8)	0 (0.0)
	75～79 歳	142 (100.0)	65 (45.8)	36 (25.4)	31 (21.8)	10 (7.0)	0 (0.0)
	80～84 歳	142 (100.0)	52 (36.6)	48 (33.8)	26 (18.3)	16 (11.3)	0 (0.0)
	85 歳以上	133 (100.0)	43 (32.3)	37 (27.8)	29 (21.8)	23 (17.3)	1 (0.8)

2) 探し物

総数では、「時々ある」25.9%、「よくある」7.5%であった。男女差はなかった。

年代別では、概ね年齢が高くなるほど「時々ある」「よくある」の割合が高かった(表 16-2)。

表 16-2 探し物—性別・年齢階級別

	総数	ほとんどない	あまりない	時々ある	よくある	無回答	
総数	764 (100.0)	341 (44.6)	164 (21.5)	198 (25.9)	57 (7.5)	4 (0.5)	
性別	男	371 (100.0)	169 (45.6)	80 (21.6)	96 (25.9)	25 (6.7)	1 (0.3)
	女	393 (100.0)	172 (43.8)	84 (21.4)	102 (26.0)	32 (8.1)	3 (0.8)
年齢	65～69 歳	177 (100.0)	95 (53.7)	35 (19.8)	39 (22.0)	8 (4.5)	0 (0.0)
	70～74 歳	170 (100.0)	86 (50.6)	34 (20.0)	42 (24.7)	7 (4.1)	1 (0.6)
	75～79 歳	142 (100.0)	63 (44.4)	34 (23.9)	37 (26.1)	8 (5.6)	0 (0.0)
	80～84 歳	142 (100.0)	47 (33.1)	34 (23.9)	44 (31.0)	17 (12.0)	0 (0.0)
	85 歳以上	133 (100.0)	50 (37.6)	27 (20.3)	36 (27.1)	17 (12.8)	3 (2.3)

(10) 長谷川式認知症スケール

回答者 1,303 人のうち、長谷川式認知症スケールの情報が得られた 1,191 人において、認知症の可能性が高いと判断される「20 点以下」が総数では 13.7%であった。

性別では男性 14.8%、女性 12.9%であった。

年代別では、年齢が高くなるほど「20 点以下」の割合が高くなり、「75～79 歳」7.2%、「80～84 歳」20.6%、「85 歳以上」45.2%であった（表 17）。

表 17 長谷川式スケール—性別・年齢階級別

	合計	20 点以下	21 点以上
総数	1,191 (100.0)	163 (13.7)	1028 (86.3)
性別	男	75 (14.8)	433 (85.2)
	女	88 (12.9)	595 (87.1)
年齢	65～69 歳	8 (2.8)	277 (97.2)
	70～74 歳	11 (3.8)	275 (96.2)
	75～79 歳	16 (7.2)	207 (92.8)
	80～84 歳	43 (20.6)	166 (79.4)
	85 歳以上	85 (45.2)	103 (54.8)

※長谷川式スケール：30 点満点で、20 点以下のとき 認知症の可能性が高いと判断される。

6 生活状況

(1) 仕事

総数では、「何らかの収入を得る仕事をしている者」23.1%であり、性別では、男性31.5%、女性16.9%であった。

年代別では、「何らかの収入を得る仕事をしている者」の割合は、「65～69歳」44.9%、「70～74歳」28.7%、「75～79歳」19.9%、「80～84歳」9.5%、「85歳以上」3.9%であった。

仕事の内訳で多かったのは「自営」33.2%であった（表18）。

表18 仕事一性別・年齢階級別 (%: 総数に対する)

	総数	仕事をしている	仕事の内訳 <% ; 就業者に対する>				仕事をしていない	無回答	
			常勤	非常勤	自営	その他			
総数	1,303 (100.0)	301 (23.1)	62 <20.6>	88 <29.2>	100 <33.2>	51 <16.9>	996 (76.4)	6 (0.5)	
性別	男	552 (100.0)	174 (31.5)	39 <22.4>	56 <32.2>	57 <32.8>	22 <12.6>	375 (67.9)	3 (0.5)
	女	751 (100.0)	127 (16.9)	23 <18.1>	32 <25.2>	43 <33.9>	29 <22.8>	621 (82.7)	3 (0.4)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	137 (44.9)	41 <29.9>	49 <35.8>	34 <24.8>	13 <9.5>	167 (54.8)	1 (0.3)
	70～74歳	296 (100.0)	85 (28.7)	11 <12.9>	26 <30.6>	31 <36.5>	17 <20.0>	209 (70.6)	2 (0.7)
	75～79歳	241 (100.0)	48 (19.9)	6 <12.5>	10 <20.8>	22 <45.8>	10 <20.8>	192 (79.7)	1 (0.4)
	80～84歳	231 (100.0)	22 (9.5)	3 <13.6>	3 <13.6>	8 <36.4>	8 <36.4>	208 (90.0)	1 (0.4)
	85歳	230	9	1	0	5	3	220	1
	以上	(100.0)	(3.9)	<11.1>	<0.0>	<55.6>	<33.3>	(95.7)	(0.4)

(2) 家庭での役割

家庭の役割がある者は、男性では 77.4%、女性では 83.0%であった。年代別では、年齢が高くなるほど役割を持つ人の割合が低くなり、「80～84歳」75.8%、「85歳以上」48.3%であった。

家庭内の役割の内容では、総数では「家事」65.1%、「庭の手入れ」52.6%、「家業の手伝い」40.7%であった。性別では、男性は「庭の手入れ」61.6%、「家業の手伝い」47.8%、女性は「家事」86.0%、「庭の手入れ」46.4%が多かった(表 19)。

表 19 家庭内での役割—性別・年齢階級別

	総数	あり	ありの内訳 (複数回答)							なし	無回答	
			家業の手伝い	病人の世話	孫の世話	家事	庭の手入れ	小動物の世話	その他			
総数	1,303 (100.0)	1,050 (80.6)	427 (40.7)	66 (6.3)	97 (9.2)	684 (65.1)	552 (52.6)	81 (7.7)	77 (7.3)	239 (18.3)	14 (1.1)	
性別	男	552 (100.0)	427 (77.4)	204 (47.8)	17 (4.0)	31 (7.3)	148 (34.7)	263 (61.6)	33 (7.7)	39 (9.1)	119 (21.6)	6 (1.1)
	女	751 (100.0)	623 (83.0)	223 (35.8)	49 (7.9)	66 (10.6)	536 (86.0)	289 (46.4)	48 (7.7)	38 (6.1)	120 (16.0)	8 (1.1)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	285 (93.4)	116 (40.7)	22 (7.7)	34 (11.9)	187 (65.6)	166 (58.2)	25 (8.8)	10 (3.5)	17 (5.6)	3 (1.0)
	70～74歳	296 (100.0)	267 (90.2)	109 (40.8)	18 (6.7)	41 (15.4)	185 (69.3)	152 (56.9)	24 (9.0)	18 (6.7)	27 (9.1)	2 (0.7)
	75～79歳	241 (100.0)	212 (88.0)	99 (46.7)	15 (7.1)	14 (6.6)	142 (67.0)	108 (50.9)	14 (6.6)	15 (7.1)	27 (11.2)	2 (0.8)
	80～84歳	231 (100.0)	175 (75.8)	65 (37.1)	10 (5.7)	6 (3.4)	107 (61.1)	89 (50.9)	15 (8.6)	12 (6.9)	54 (23.4)	2 (0.9)
	85歳以上	230 (100.0)	111 (48.3)	38 (34.2)	1 (0.9)	2 (1.8)	63 (56.8)	37 (33.3)	3 (2.7)	22 (19.8)	114 (49.6)	5 (2.2)

(3) 社会参加

総数では、社会参加「あり」61.6%、「なし」37.9%であった。社会参加している者は、性別では、男性64.3%、女性59.7%であった。年代別では、年齢が高くなるほど社会参加している者の割合が低くなり、「80～84歳」52.8%、「85歳以上」35.7%であった（表20-1）。

「あり」の内訳を平成13年度調査と比較すると、総数（81.5%）、男女別、年齢別すべての区分で上昇した。

参加内容は、総数では「町内会等」54.8%、「老人クラブ」37.5%、「趣味の会」32.1%の順が多かった。年代別では、「75～79歳」までは「町内会等」が、「80～84歳」から年齢が高くなると「老人クラブ」が最も多くなっている。

団体や集まりに参加している者のうち、役員や世話役などの役割「あり」41.0%であり、男性54.9%、女性29.9%であった。年代別では、「75～79歳」から年齢が高くなると「なし」の割合が高くなっている（表20-2）。

表20-1 社会参加—性別・年齢階級別

	総数	あり	ありの内訳（複数回答）						なし	無回答	
			町内会等	趣味の会	高齢者学級等	老人クラブ	社会奉仕団体	その他			
総数	1,303 (100.0)	803 (61.6)	440 (54.8)	258 (32.1)	66 (8.2)	301 (37.5)	95 (11.8)	181 (22.5)	494 (37.9)	6 (0.5)	
性別	男	552 (100.0)	355 (64.3)	245 (69.0)	96 (27.0)	25 (7.0)	124 (34.9)	44 (12.4)	71 (20.0)	196 (35.5)	1 (0.2)
	女	751 (100.0)	448 (59.7)	195 (43.5)	162 (36.2)	41 (9.2)	177 (39.5)	51 (11.4)	110 (24.6)	298 (39.7)	5 (0.7)
年齢	65～69歳	305 (100.0)	219 (71.8)	147 (67.1)	75 (34.2)	12 (5.5)	47 (21.5)	32 (14.6)	41 (18.7)	85 (27.9)	1 (0.3)
	70～74歳	296 (100.0)	214 (72.3)	128 (59.8)	75 (35.0)	15 (7.0)	74 (34.6)	35 (16.4)	35 (16.4)	81 (27.4)	1 (0.3)
	75～79歳	241 (100.0)	166 (68.9)	93 (56.0)	57 (34.3)	15 (9.0)	86 (51.8)	19 (11.4)	41 (24.7)	74 (30.7)	1 (0.4)
	80～84歳	231 (100.0)	122 (52.8)	55 (45.1)	39 (32.0)	16 (13.1)	57 (46.7)	9 (7.4)	33 (27.0)	109 (47.2)	0 (0.0)
	85歳以上	230 (100.0)	82 (35.7)	17 (20.7)	12 (14.6)	8 (9.8)	37 (45.1)	0 (0.0)	31 (37.8)	145 (63.0)	3 (1.3)

表 20-2 役割の有無－性別・年齢階級別

	総数	あり	なし	無回答	
総数	803 (100.0)	329 (41.0)	472 (58.8)	2 (0.2)	
性別	男	355 (100.0)	195 (54.9)	159 (44.8)	1 (0.3)
	女	448 (100.0)	134 (29.9)	313 (69.9)	1 (0.2)
年齢	65～69 歳	219 (100.0)	114 (52.1)	103 (47.0)	2 (0.9)
	70～74 歳	214 (100.0)	113 (52.8)	101 (47.2)	0 (0.0)
	75～79 歳	166 (100.0)	66 (39.8)	100 (60.2)	0 (0.0)
	80～84 歳	122 (100.0)	31 (25.4)	91 (74.6)	0 (0.0)
	85 歳以上	82 (100.0)	5 (6.1)	77 (93.9)	0 (0.0)

(4) 会 話

普段最も多く会話する相手は、総数では「配偶者」52.8%であり男女とも最多であった(表 21)。

表 21 誰と最も多く話すか－性別・年齢階級別

	総数	配偶者	息子	子の 配偶者	娘	孫	孫の 配偶者	その他	無回答	
総数	1,303 (100.0)	688 (52.8)	120 (9.2)	61 (4.7)	114 (8.7)	36 (2.8)	1 (0.1)	257 (19.7)	26 (2.0)	
性別	男	552 (100.0)	404 (73.2)	27 (4.9)	8 (1.4)	14 (2.5)	4 (0.7)	0 (0.0)	87 (15.8)	8 (1.4)
	女	751 (100.0)	284 (37.8)	93 (12.4)	53 (7.1)	100 (13.3)	32 (4.3)	1 (0.1)	170 (22.6)	18 (2.4)
年齢	65～ 69 歳	305 (100.0)	206 (67.5)	17 (5.6)	4 (1.3)	12 (3.9)	8 (2.6)	0 (0.0)	56 (18.4)	2 (0.7)
	70～ 74 歳	296 (100.0)	188 (63.5)	12 (4.1)	5 (1.7)	19 (6.4)	13 (4.4)	0 (0.0)	51 (17.2)	8 (2.7)
	75～ 79 歳	241 (100.0)	146 (60.6)	21 (8.7)	9 (3.7)	16 (6.6)	4 (1.7)	0 (0.0)	37 (15.4)	8 (3.3)
	80～ 84 歳	231 (100.0)	102 (44.2)	29 (12.6)	17 (7.4)	30 (13.0)	6 (2.6)	1 (0.4)	42 (18.2)	4 (1.7)
	85 歳 以上	230 (100.0)	46 (20.0)	41 (17.8)	26 (11.3)	37 (16.1)	5 (2.2)	0 (0.0)	71 (30.9)	4 (1.7)

(5) 嗜好

1) 飲酒

「毎日」飲酒している者は、男性 42.0%に対し女性 3.6%で著しい差があった。年齢別では、「75～79 歳」から年齢が高くなると飲酒している者の割合は低かった（表 22-1）。

表 22-1 飲酒－性別・年齢階級別

	合計	毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	今は飲まない	無回答	
総数	1,303 (100.0)	259 (19.9)	151 (11.6)	757 (58.1)	133 (10.2)	3 (0.2)	
性別	男	552 (100.0)	232 (42.0)	95 (17.2)	139 (25.2)	86 (15.6)	0 (0.0)
	女	751 (100.0)	27 (3.6)	56 (7.5)	618 (82.3)	47 (6.3)	3 (0.4)
年齢	65～69 歳	305 (100.0)	79 (25.9)	53 (17.4)	153 (50.2)	20 (6.6)	0 (0.0)
	70～74 歳	296 (100.0)	77 (26.0)	40 (13.5)	157 (53.0)	22 (7.4)	0 (0.0)
	75～79 歳	241 (100.0)	49 (20.3)	27 (11.2)	134 (55.6)	29 (12.0)	2 (0.8)
	80～84 歳	231 (100.0)	33 (14.3)	20 (8.7)	154 (66.7)	23 (10.0)	1 (0.4)
	85 歳以上	230 (100.0)	21 (9.1)	11 (4.8)	159 (69.1)	39 (17.0)	0 (0.0)

2) 喫煙

「喫煙」者は、男性 19.2%に対し女性 0.9%で著しい差があった。年齢が高くなるほど、喫煙者の割合は減少していた（表 22-2）。

表 22-2 喫煙－性別・年齢階級別

	合計	吸う	やめた	もともと吸わない	無回答	
総数	1,303 (100.0)	113 (8.7)	346 (26.6)	842 (64.6)	2 (0.2)	
性別	男	552 (100.0)	106 (19.2)	320 (58.0)	124 (22.5)	2 (0.4)
	女	751 (100.0)	7 (0.9)	26 (3.5)	718 (95.6)	0 (0.0)
年齢	65～69 歳	305 (100.0)	41 (13.4)	87 (28.5)	176 (57.7)	1 (0.3)
	70～74 歳	296 (100.0)	29 (9.8)	82 (27.7)	185 (62.5)	0 (0.0)
	75～79 歳	241 (100.0)	25 (10.4)	58 (24.1)	158 (65.6)	0 (0.0)
	80～84 歳	231 (100.0)	12 (5.2)	61 (26.4)	157 (68.0)	1 (0.4)
	85 歳以上	230 (100.0)	6 (2.6)	58 (25.2)	166 (72.2)	0 (0.0)